

CASBEE神戸ver.3
㈱二川工業製作所 神戸工場

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄			評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									2.7
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル					-	-	-	-	-
1.2 遮音					-	-	3.0	-	
1 開口部遮音性能					-	-	3.0	-	
2 界壁遮音性能					-	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音					-	-	3.0	-	
2 温熱環境					-	-	-	-	-
2.1 室温制御					-	-	-	-	-
1 室温					-	-	3.0	-	
2 外皮性能					-	-	3.0	-	
3 ゾーン別制御性					-	-	-	-	
2.2 湿度制御					-	-	3.0	-	
2.3 空調方式					-	-	3.0	-	
3 光・視環境					-	-	-	-	-
3.1 昼光利用					-	-	-	-	-
1 昼光率					-	-	3.0	-	
2 方位別開口					-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備					-	-	3.0	-	
3.2 グレア対策					-	-	-	-	
1 昼光制御					-	-	3.0	-	
3.3 照度					-	-	3.0	-	
3.4 照明制御					-	-	3.0	-	
4 空気環境					-	-	-	-	-
4.1 発生源対策					-	-	-	-	-
1 化学汚染物質					-	-	3.0	-	
4.2 換気					-	-	-	-	-
1 換気量					-	-	3.0	-	
2 自然換気性能					-	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮					-	-	3.0	-	
4.3 運用管理					-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視					-	-	-	-	-
2 喫煙の制御					-	-	-	-	-
Q2 サービス性能					-	0.43	-	-	3.3
1 機能性					-	-	-	-	-
1.1 機能性・使いやすさ					-	-	-	-	-
1 広さ・収納性					-	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応					-	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画					-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性					-	-	-	-	-
1 広さ感・景観					-	-	3.0	-	
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-	
3 内装計画					-	-	-	-	
1.3 維持管理					-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計					-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保					-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性					2.6	0.50	-	-	2.6
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					2.5	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.25	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					2.0	0.25	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.25	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					2.0	0.25	-	-	
2.4 信頼性					2.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備					3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					1.0	0.20	-	-	
3 電気設備					3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					3.0	0.20	-	-	

LED照明

3 対応性・更新性			3.9	0.50	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり			5.0	0.43	-	-	
1	階高のゆとり	天井高さ=9.7m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.08	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.57	-	-	
1	空調配管の更新性	配管ラックを設置	4.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		1.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	配管ラックを設置	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	配管ラックを設置	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	荷降ろしヤード、大開口シャッターを設置	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	事務所棟にテラス・ルーフバルコニーを設置	3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	-	-	-	-
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = -	-	-	-	-
4 効率的運用			-	-	-	-	-
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.50	-	-	3.6
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤、再生アスファルト舗装、再生木材デッキ	5.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	モルタル・タイル仕上なし。コンセント等の躯体への打込なし	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	内装材にはF☆☆☆☆のみ使用	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	-	-	-	
3	冷媒		3.0	1.00	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.50	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮			3.0	0.50	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止	燃焼機器の使用なし	5.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	荷降ろしスペース、及び利用者に対し十分な駐輪場・駐車場を設置	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.50	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制	風害対策に対する要請・自主的対策なし	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	4.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	